

# 街フォト スクラップ

みんなのイマをパシャ!!

## イベント

### カンパチダンスPR動画を撮影



1月30日、リナシティのやで、カンパチダンスの撮影会が開催されました。これは学校教育プログラムにも導入されているダンスの更なる普及と、踊る楽しさをPRするために行われたもの。誰でも参加できるとあって、大勢の市民が集合し、楽しく踊っていました。動画は、DVDにして学校や教育施設等に配布予定で、YouTubeでも配信されます。

### 高隈山を駆け巡る



2月14日、「高隈山ピークハントトレイルin鹿屋」が初開催され、県内外から73人が参加しました。トレイルランニングとは森や山中などの未舗装の道を走るスポーツで、年々競技者が増えています。当日は小雨の降る天候でしたが、国立大隅青少年自然の家をスタートした選手は、御岳、大笹柄岳など約35kmのアップダウンのコースを力強く駆け抜けていました。

### 吾平の自然をウォーキングで楽しむ



2月7日、大隅広域公園周辺で「第22回美里あいら心わくわくウォーキング大会」が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、市内外から588人がウォーキングに参加。吾平山上陵や美里吾平の美しい自然を楽しみながらさわやかな汗を流しました。また、終了後には花苗や協賛店で使用できる割引券がプレゼントされました。

### 高校生ミュージカルに感動!



2月7日、市文化会館で高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」ある王の物語」が上演されました。公募で集まった大隅の高校生たちが出演するこのミュージカルは、平成20年から毎年公演しており、今年も、昼と夜で配役が入れ替わるという初の試みでの公演。高校生たちのハツラツとした演技と完成度の高さに、観客は感動の拍手を送っていました。

### 県学校合唱祭で受賞した歌声を披露



2月5日、吾平小学校合唱部の児童20人が学校関係者とともに市役所を表敬訪問しました。これは1月に開催された「第37回鹿児島県学校合唱祭」で、準グランプリに当たる「津曲賞」を受賞したことに伴って行われたもの。表敬訪問後には、市役所ロビーでミニコンサートを開催。市民の皆さんに、透き通るような美しい生の歌声を披露していました。

### 大阪で鹿屋を売り込む



2月6日・7日の2日間、大阪府豊中市のせんちゅうパル南広場で、「大隅半島・かのやよかとこフェア」を開催しました。これは、本市と大隅半島の食や観光をPRし、販路拡大と交流人口の増加を図ろうと行われたもの。当日は農林水産物の販売やかのやカンパチ口ウによるダンスの披露、ナコン大会などが行われ、多くの人でにぎわいました。

## 教育

### 職業体験で社会の仕組みを学ぶ



2月11日、鹿屋女子高校で「キッズビジネスタウン」が行われました。これは、小売業や飲食店、公共機関等の職業体験を通して小学生にビジネスや経済について学んでもらおうと行われたもので、大隅では初めての取り組み。子どもたちは校内に設置された体験ブースで働き、もらった給料から納税や消費活動を行うことで、社会について分かりやすく学んでいました。

## 講演

### 農商工連携で地域活性化を



2月19日、市内のホテルで「農商工連携推進セミナー」が開催され、大隅各地から生産者や商工業者など約100人が参加しました。このセミナーは、新商品開発や販路開拓を進めて地域経済の活性化を図るために毎年開催されているもの。当日は「有機農業と人材確保について」と「食農連携で地域を元気に」を演題に講演が行われ、参加者は真剣に聞き入っていました。

### 保健福祉フェスタを開催



2月20日、市役所で「第39回鹿屋市保健福祉フェスタ」が開催されました。当日は、保健福祉などの功労者等の表彰や80歳以上で自分の歯が20本以上ある人を表彰する8020表彰が行われました。また、鍼灸治療院院長の泊平八郎さんによる講演では、参加者が実際に体のつぼを押しなが、健康について学んでいました。

## 商業

### 商談会を販路拡大のきっかけに



2月24日、鹿屋商工会議所で「第6回まるごとおおすみアプリフード商談会」が開催されました。これは、鹿屋市や大隅地域の42事業者が、付加価値の高い農産物や加工品等を一堂に出展し、県内外からのバイヤー26社を招いて商談を行ったもの。今回は合計186件の個別商談が行われ、出展者はバイヤーの声に熱心に耳を傾けるなど、会場は熱気に満ちていました。

### 違いを認め合う大切さを学ぶ



2月27日、リナシティのやで市男女共同参画講座「一人ひとりを大切にするためのコミュニケーション」を学ぶ講座が開催されました。講座には約40人が参加し、講師の指示に従って絵を描くワークショップを通じて、「一人ひとり違う」ことを実際に体感。また、違いに出会ったときお互いの違いを認め合う話し方について学んでいました。